

第10回
東京都水道事業運営戦略検討会議
参 考 資 料

令和2年9月8日

目次

- 1 お客様の声の検証と事業への反映 3
- 2 東京水道のグループ経営に向けた取組 20

現在発行されている検針票等の削減見込

○ 現在発行している主な紙類の発行枚数と単価は以下のとおり

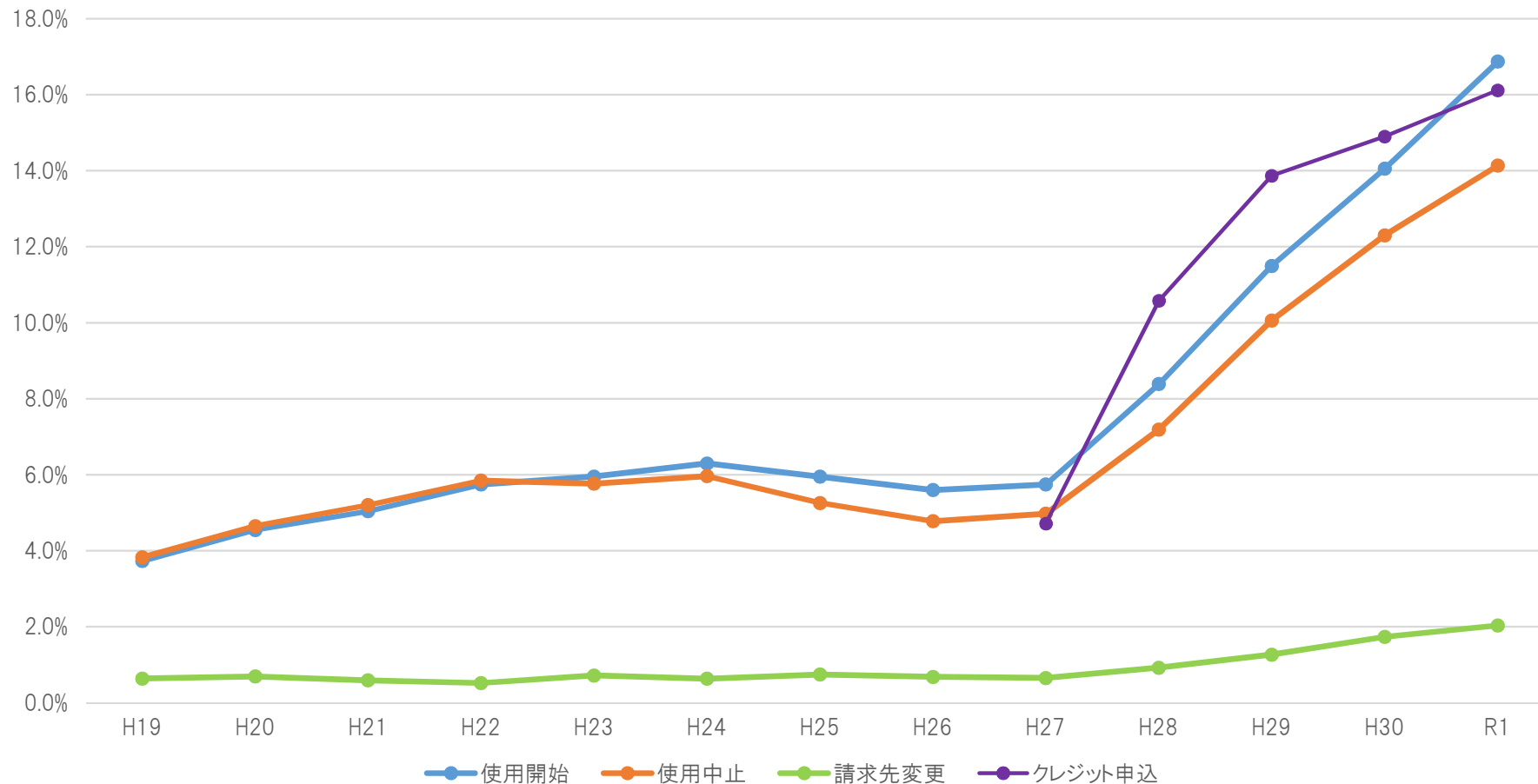
発行している紙類	検針票	請求書	口座振替済のお知らせ (支払証明)
発行枚数	約4,600万枚	約1,200万枚	約340万枚
1枚あたりの経費	約13円	約123円	約58円
削減経費※	4,600万枚 × 13円/枚 = 5億9,800万円	1,200万枚 × 123円/枚 = 14億7,600万円	340万枚 × 58円/枚 = 1億9,720万円

※100%ペーパーレスが達成されたものとして試算

インターネット受付の推移

○ インターネット受付の推移は以下のとおり

インターネット受付の推移

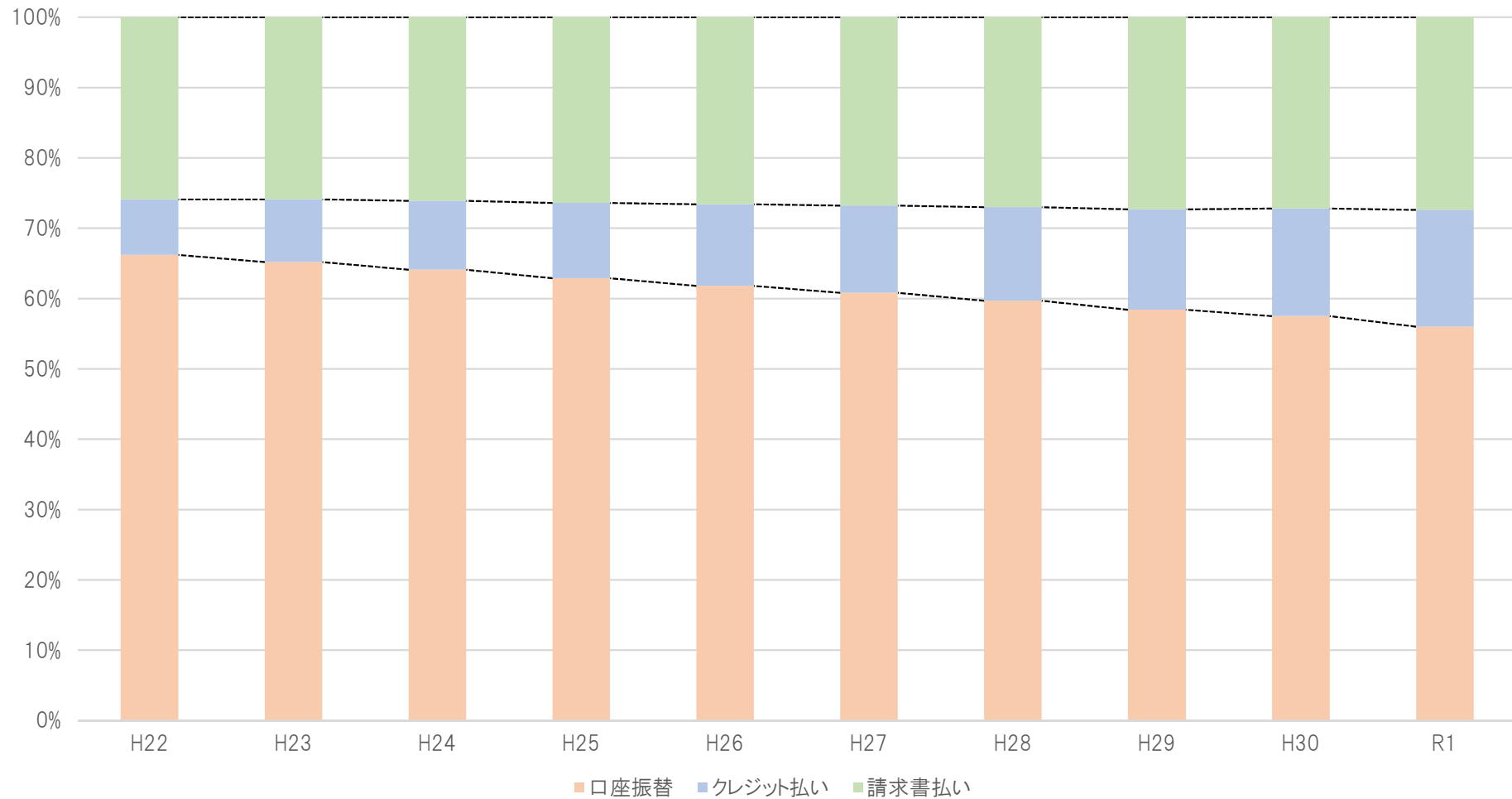


	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
使用開始	3.7%	4.5%	5.0%	5.7%	6.0%	6.3%	6.0%	5.6%	5.7%	8.4%	11.5%	14.1%	16.9%
使用中止	3.8%	4.7%	5.2%	5.8%	5.8%	6.0%	5.3%	4.8%	5.0%	7.2%	10.1%	12.3%	14.1%
請求先変更	0.6%	0.7%	0.6%	0.5%	0.7%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.9%	1.3%	1.7%	2.0%
クレジット申込									4.7%	10.6%	13.9%	14.9%	16.1%

支払方法の推移

○ 支払方法の推移は以下のとおり

支払方法の推移

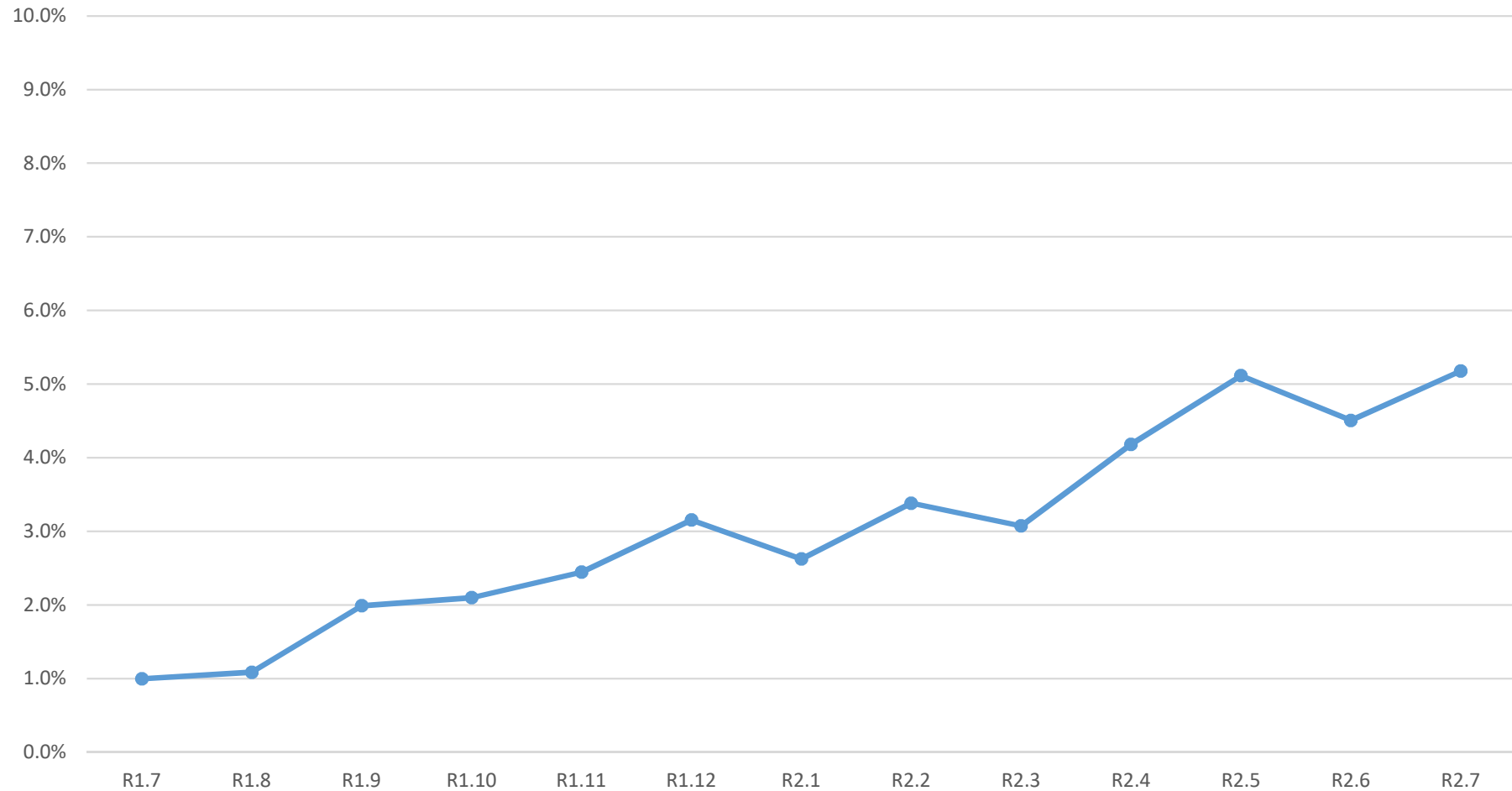


	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
口座振替	66.2%	65.2%	64.1%	62.9%	61.8%	60.8%	59.7%	58.4%	57.5%	56.0%
クレジット払い	7.9%	8.9%	9.8%	10.7%	11.6%	12.4%	13.3%	14.3%	15.3%	16.6%
請求書払い	25.9%	25.9%	26.1%	26.4%	26.6%	26.8%	27.0%	27.3%	27.2%	27.4%

スマートフォン決済率の推移

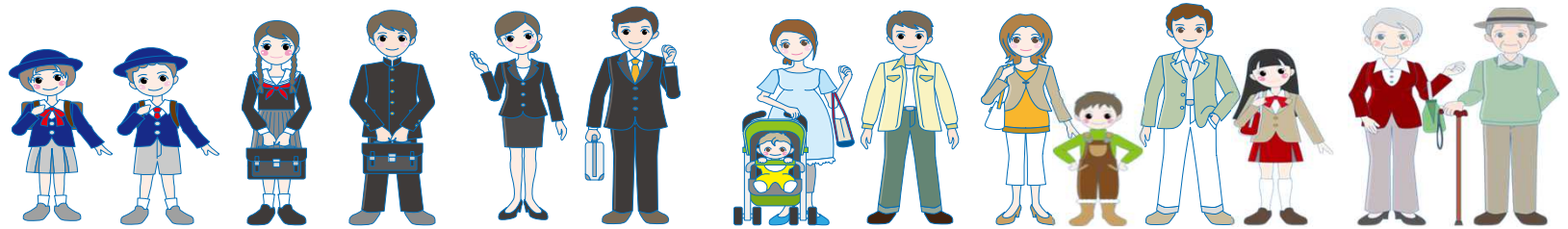
○ 請求書払いに占めるスマートフォン決済率の推移は以下のとおり

請求書払いに占めるスマートフォン決済率



	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
スマホ決済率	1.0%	1.1%	2.0%	2.1%	2.4%	3.2%	2.6%	3.4%	3.1%	4.2%	5.1%	4.5%	5.2%

広報戦略におけるターゲットと広報施策の分布



小学生
中学生
高校生
大学生
社会人
子育て層
(子ども
未就学)
子育て層
(子ども
小学校)
シニア

(年代) ~10代 10代 20代 30代 40代 50代 60代~

学校水道 キャラバン	給水訓練を 活用した断水体験	地域水道キャラバン (大人向け)	地域水道キャラバン (子育て層向け)	学校水道 キャラバン	地域水道キャラバン (大人向け)
親子サポーター 施設見学会		結婚支援 イベント		親子サポーター 施設見学会	
利根川水系 上下流交流事業				利根川水系 上下流交流事業	
多摩川水系上下流交流事業				多摩川水系 上下流交流事業	
水源管理事務所 水道教室	Instagram (東京水道Photo、水滴くん)				
わたしたちの 水道	キャンペーン「東京スマイルボトルプロジェクト」				
	水道なんでも相談				
水の科学館	水の科学館			水道歴史館	
水道歴史館	水道週間行事「いつもあなたのそばに 東京水ライフイベント」、 多摩水道ウォーキングツアー、多摩水道公開講座、東京水道名所				
水道週間作品コンクール	HP、AIチャットボット、局公式Twitter、Facebook、多摩水道公式Twitter				
水源林ツアー、玉川上水ウォーキング、局広報動画、トレインチャンネル、パンフレット「東京の水道」、 パンフレット「水道・くらしのガイド」、広報誌「地域水道ニュース」、奥多摩水と緑のふれあい館、 ペットボトル「東京水」、Tokyowater Drinking Station、水質モニター調査、東京水道フォトコンテスト、 東京水道あんしん診断、水道工事のイメージアップ事業					

広報施策一覧①

<p>1.学校水道キャラバン</p>	<p>2.子育て層向けの出前講座「地域水道キャラバン」</p>	<p>3.大人向けの出前講座「地域水道キャラバン」</p>	<p>4.親子サポーター見学会</p>	<p>5.給水訓練を活用した断水体験</p>	<p>6.水道週間行事(イベント)</p>
<p>水道の仕組みを楽しく学習する小学校4年生向け訪問授業プログラム</p>	<p>水道事業の取組や水道情報を紹介する児童館等で実施する出前講座</p>	<p>水道事業の取組や災害発生時の対応などを分かりやすく説明する住民向け出前講座</p>	<p>小学生とその保護者を対象にした、ダム等の施設見学会</p>	<p>高校生向けに実施している、震災対策の講話や応急給水装置の組立て等の実習、水が使えないときの生活体験等</p>	<p>6月第1週の水道週間にちなんで実施される街頭イベント。水道水の試飲、パネルクイズ、アンケート、凝集沈殿実験等を実施</p>
					
<p>7.水源林ツアー</p>	<p>8.利根川水系上下流交流事業</p>	<p>9.玉川上水ウォーキング</p>	<p>10.水源管理事務所水道教室</p>	<p>11.水道なんでも相談</p>	<p>12.ホームページ</p>
<p>水道水源林内に整備した「水源地ふれあいのみち」等を水源管理事務所職員が案内・説明</p>	<p>利根川水系の上流である群馬県でのふるさと体験会や八ツ場ダムなど施設見学会</p>	<p>玉川上水路沿いを散策しながら見どころや水道施設を局職員が説明</p>	<p>小学校4年生を対象にした水源管理事務所職員による水道水源林に関する講義</p>	<p>商店街や街のイベントなどで、水道局営業所・サービスステーションの職員が設置する、水道に関する街角相談会</p>	<p>東京都水道局の公式ホームページ</p>
					

広報施策一覧②

<p>13.AIチャットボット</p>	<p>14.Twitter</p>	<p>15.Facebook</p>	<p>16.Instagram 東京水道 Photo</p>	<p>17.Instagram 水滴くん公式</p>	<p>18.多摩水道Twitter</p>
<p>ホームページ上で、お客さまが質問を入力すると、水滴くんを表示したAIが会話の意味を捉えて回答するサービス</p>	<p>東京都水道局の公式Twitter</p>	<p>東京都水道局の公式Facebook</p>	<p>東京都水道局の公式Instagram。水源地や水のある風景の写真を発信する公式アカウント</p>	<p>東京都水道局の公式Instagram。水滴くんや水玉ちゃんが登場する写真を投稿</p>	<p>多摩地域に特化した情報発信と拡散を行う公式Twitter</p>
					

<p>19.局広報動画</p>	<p>20.トレインチャンネル</p>	<p>21.東京の水道</p>	<p>22.水道くらしのガイド</p>	<p>23.小学校社会科学習資料「わたしたちの水道」</p>	<p>24.地域水道ニュース</p>
<p>水道局の事業について分かりやすい広報映像で紹介</p>	<p>JR等の鉄道社内の液晶ビジョンで、震災対策や水道工事等の取組など、水道事業の内容のお知らせ</p>	<p>東京都水道のあらましと取組を紹介する冊子</p>	<p>くらしの中で役立つ水道の情報を中心に紹介する冊子イベント等で配布</p>	<p>小学校の授業で利用する水道の仕組みなどを学び、水の大切さについて考える学習教材</p>	<p>営業所やサービスステーションで地域の情報を分かりやすく伝える広報紙</p>
					 <p>※区市町によってレイアウトは異なります。</p>

広報施策一覧③

<p>25.水道歴史館</p>	<p>26.水の科学館</p>	<p>27.奥多摩 水と緑のふれあい館</p>	<p>28.ペットボトル「東京水」</p>	<p>29.Tokyowater Drinking Station</p>	<p>30.水道水質モニター</p>
<p>玉川上水に始まる東京水道の歴史を学び、水道の大切さを学ぶ施設</p>	<p>水の不思議の探求を通じて水の大切さを学ぶ施設</p>	<p>3Dシアターや展示物により、奥多摩の豊かな自然、ダム of 仕組み、水の大切さを分かりやすく紹介する施設</p>	<p>高度浄水処理された水道水をペットボトルに詰めたもの</p>	<p>まちなかやイベント会場などで東京の水道水が飲める水飲栓で、AR(拡張現実)による情報発信機能を備えたもの</p>	<p>自宅の水道水の水質を簡易測定キットを利用してセルフチェックできる仕組み</p>
				 <p>東京国際フォーラムに設置 公共施設等に設置</p>	

<p>31.水道フォトコンテスト</p>	<p>32.水道週間作品コンクール</p>	<p>33.水道工事のイメージアップ</p>	<p>34.東京水道名所</p>
<p>水道に関する写真を募集し、コンテストを行い、優秀者の写真はカレンダーにする</p>	<p>水道週間行事の一つとして都内在住・在学の小中学生に水道をテーマにした作文やポスターを募集し、優秀者を表彰</p>	<p>一般の方にも分かりやすい説明や現場見学会、周辺環境への配慮などを通じて、お客さまの御理解をいただくための取組</p>	<p>技術、景観、歴史等が優れており、お客さまにもっとお伝えしたい、知っていただきたい水道のインフラ施設</p>
		 <p>各工事現場で行っているイメージアップ事業</p>	

広報関係経費

＜広報・広聴に係る主な経費＞

項目	主な内容	令和2年度予算
広聴	満足度調査 広報効果測定委託 水質モニター	46百万円
グッズ	ペットボトル東京水 イベント等で用いるグッズ 広報用映像作成	30百万円
イベント	水道キャラバン DS (Drinking Station) の設置 イベントの実施経費	588百万円
印刷物等	トレインチャンネル 悪質訪問等注意喚起ビラ 広報カレンダー	96百万円
HP (ホームページ)	ホームページの運営 チャットボット	22百万円
PR館	科学館 歴史館 水と緑のふれあい館	480百万円
その他	渇水発生時に備えた経費	30百万円

震災対策に関するPR例

災害時に水を配布します

震災等の災害で断水したときは、「災害時給水ステーション」で水道水をお配りします。「災害時給水ステーション」には、次の3種類があります。

- 1 災害時給水ステーション（給水拠点）
お住まいからおおむね半径2kmの距離内に1か所、都内215か所（浄水場、給水所、応急給水槽等）の給水拠点に開設します。
東京都全体の給水拠点で確保している水量は、全部で約105万 m^3 になります。

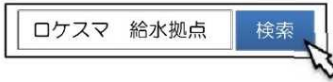


震災時の給水量として、25mプール約2,100杯に相当する約105万 m^3 の水が確保されているのよ。




無料スマートフォンアプリ「ロケスマ」を利用して、お近くの給水拠点を簡単に確認することができます。

詳細やアプリのダウンロードはこちらから⇒

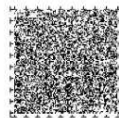


- 2 災害時給水ステーション（車両輸送）
給水拠点から遠く離れている避難所等に設置された仮設給水タンク等に車両で水を輸送し、開設します。
- 3 災害時給水ステーション（避難所等）
給水拠点での応急給水を補完するために、避難所に設置している避難所応急給水栓や、避難所付近のあらかじめ指定した消火栓等に区市町が仮設の蛇口を設置し、開設します。





★「災害時給水ステーション」は左のマークが目印です。
★災害時給水ステーションにお越しの際は、水を入れる容器（ポリタンクやペットボトルなど）を必ずお持ちください。
★災害時給水ステーションの開設状況は、水道局ホームページなどで公表します。開設状況を確認の上、お越しください。



震災への備え

震災への備え

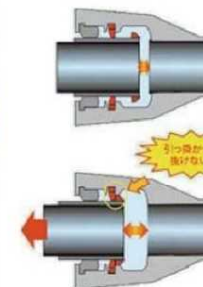
水道管路の耐震継手化

平成7年に発生した阪神・淡路大震災や平成23年に発生した東日本大震災では、水道施設が甚大な被害を受け、多数の断水被害が発生し、市民生活や社会経済活動に重大かつ深刻な影響をもたらしました。これらの震災で発生した水道管路の被害の原因としては、継手部分での管路の抜け出しによるものが多くを占めました。

首都直下地震の切迫性が指摘される中、水道管路については、震災時における断水被害を最小限にとどめ、可能な限り給水を確保するとともに、断水被害が発生した際の平常給水に復旧するまでの日数を短縮させるため、継手部分に抜け出し防止機能を持つ「耐震継手管」に取り替える事業を進めています。特に、震災時に多くの人が集まる避難所等の重要施設への供給ルートなどを優先的に耐震継手管に取り替えています。



水道管路の取替工事の様子



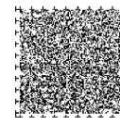
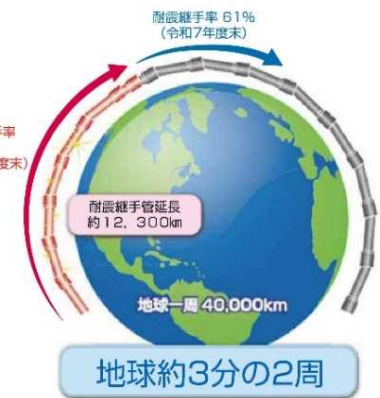
耐震継手管の構造（イメージ図）

東日本大震災でも、耐震継手管は全く被害を受けなかったんだよ。



水道局が管理する水道管路の長さは、地球の約3分の2周に及びます（約27,952km。平成31年3月末）。このうちの約4割は、すでに耐震継手管になっています。

耐震継手率の向上	平成30年度末 44%	令和7年度末 61%
復旧日数の短縮	平成26年度末 27日	令和7年度末 16日



水質に関するPR例

安全でおいしい水を安定してつくり届けるために

安全でおいしい水を安定してつくり届けるために

高度浄水処理を行っています

原水となる川の水によっては、通常の浄水処理だけでは、においのもとを完全に取り除くことができません。そこで、においのもとを取り除くことができる高度浄水処理を導入し、より一層安全でおいしい水をつくっています。

ホームページに、高度浄水処理に関する動画を掲載しています。是非ご覧ください！



高度浄水施設は、平成元年から約四半世紀をかけて整備を進め、平成 25 年度には、対象の全ての浄水場で高度浄水施設が完成しました。現在、利根川水系から取水している水道水は、100% 高度浄水処理されています。



当局における高度浄水処理の仕組み



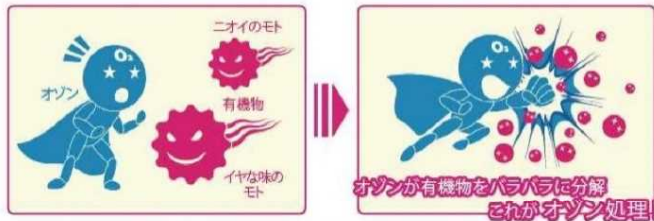
【オゾン処理】

かび臭の原因物質や有機物などを、オゾンの強力な酸化力で分解します。

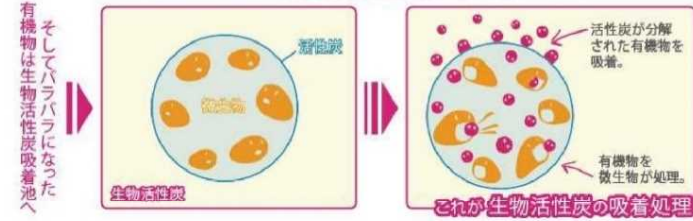
【生物活性炭吸着処理】

活性炭の吸着作用と活性炭に繁殖した微生物の分解作用で、有機物を処理します。

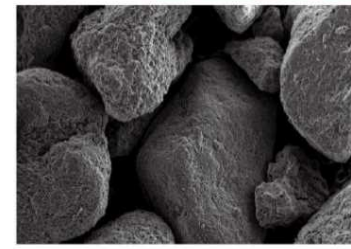
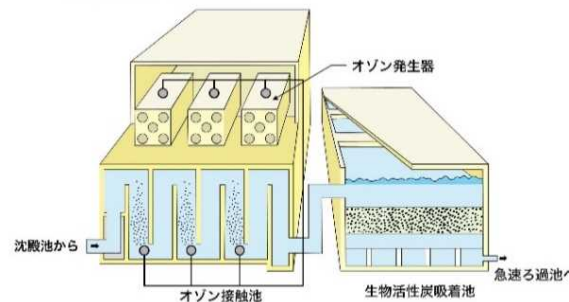
オゾン処理イメージ



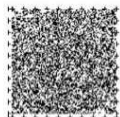
生物活性炭吸着処理イメージ



▲オゾン接触池
オゾンを含んだ空気を、水に吹き込んで接触させます。



▲活性炭（拡大写真）
一粒の大きさは約 1 mm



お客さまが水道事業に関して求めている情報

〈あんしん診断アンケート結果〉

水道事業に関して提供してほしい情報(複数回答) 年代別

年代	人数	震災対策 取組	安全お いしい	水質検査 結果	断水濁水 情報	水源貯水 状況	環境への 取組	各種手続 方法	声の反映 状況	施設見学 情報	事業経営 状況	各種イベ ント 情報	その他
全体	147,240	59.7%	59.1%	58.8%	48.6%	37.8%	23.9%	12.4%	11.8%	11.2%	8.0%	7.1%	1.5%
20代以下	4,871	51.0%	60.1%	48.8%	39.2%	17.8%	21.1%	19.9%	14.2%	9.0%	4.2%	10.1%	1.6%
30代	11,776	58.8%	60.7%	59.1%	43.4%	27.6%	21.8%	17.0%	14.5%	15.1%	6.6%	14.1%	1.7%
40代	19,171	59.0%	59.7%	62.3%	48.7%	34.4%	23.7%	15.1%	14.2%	14.9%	7.8%	11.8%	1.6%
50代	22,662	61.7%	61.2%	63.9%	52.5%	39.4%	25.4%	14.0%	13.3%	11.1%	8.1%	7.4%	1.8%
60代	32,650	63.0%	60.7%	62.0%	50.9%	40.8%	27.6%	11.1%	11.6%	10.6%	9.3%	5.5%	1.2%
70歳以上	55,482	58.3%	56.9%	54.6%	47.7%	40.5%	22.0%	10.0%	9.8%	9.8%	7.8%	4.6%	1.3%
不明	628	40.8%	41.9%	39.8%	32.3%	27.7%	16.6%	8.0%	9.6%	7.0%	7.0%	5.4%	4.6%

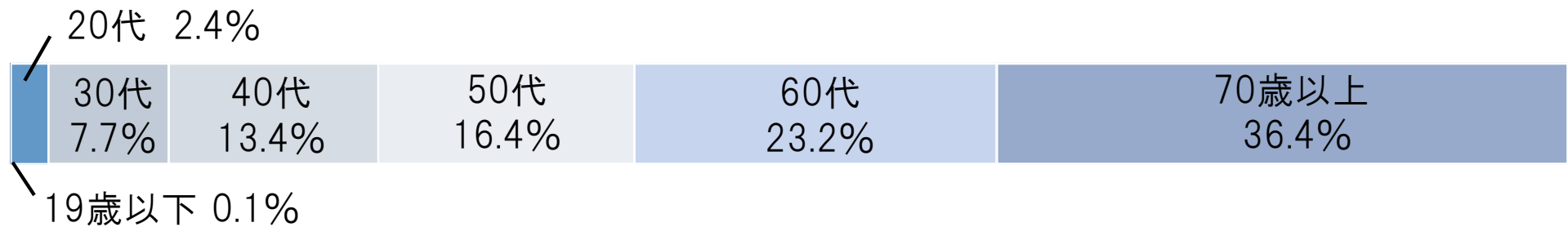
東京水道あんしん診断アンケート自由意見の集計結果

1 自由意見の総数

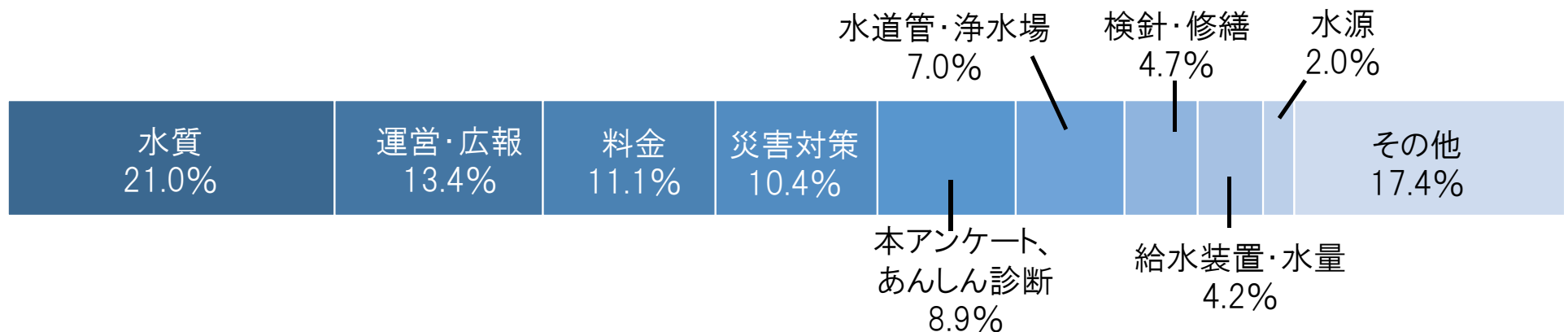
279,146件

2 意見の内訳

- 年代別では、60代以上のお客さまが6割近くを占めています。



- 内容別では、「水質」「運営・広報」「料金」など様々な御意見をいただきました。



東京水道あんしん診断の事業経費

(1)事業経費

(単位：百万円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計
区部	441	1,180	1,027	960	792	4,400
多摩	63	361	321	317	307	1,369
計	504	1,541	1,348	1,277	1,099	5,769

(2)経費内訳

(単位：百万円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計
診断業務委託費	83	1,035	876	848	695	3,537
調整業務委託費	79	170	175	178	178	780
システム経費	250	199	157	154	142	902
アンケート経費	26	71	82	68	59	306
物品・印刷経費	65	66	58	29	25	243
計	503	1,541	1,348	1,277	1,099	5,768

水道工事に関わるこれまでの取組（補足）

<これまでの取組（補足）>

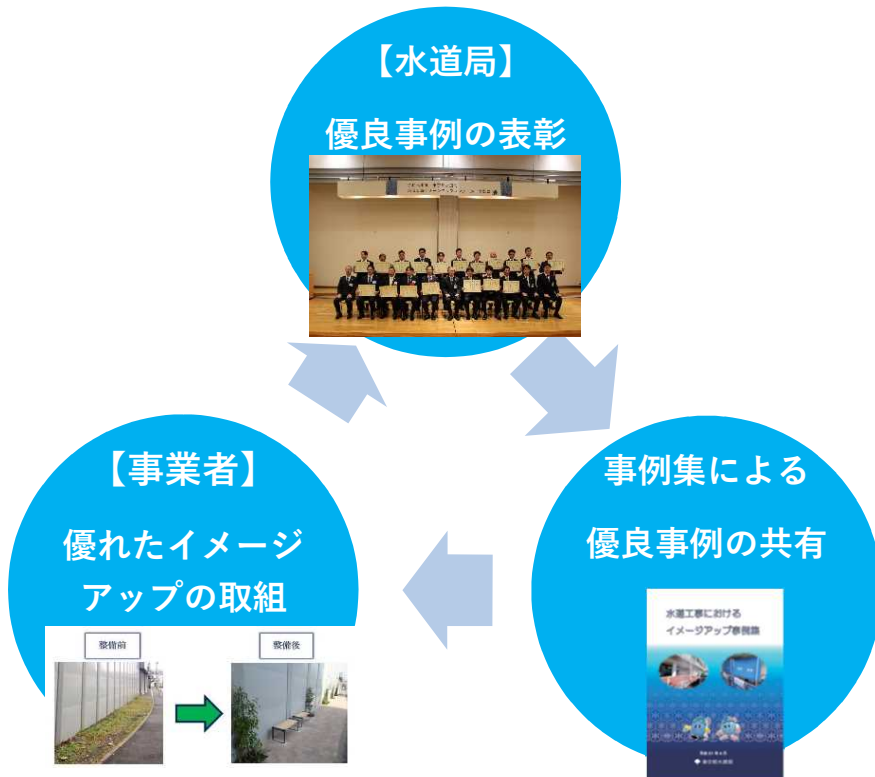
水道工事イメージアップコンクール

1. 開催目的

水道事業や工事の広報、周辺環境への配慮、地域とのコミュニケーションなどに優れた取組を実施した工事を表彰することで、水道工事の更なるイメージアップを促し、お客さまの理解を深め、安全で円滑な工事施行につなげる。

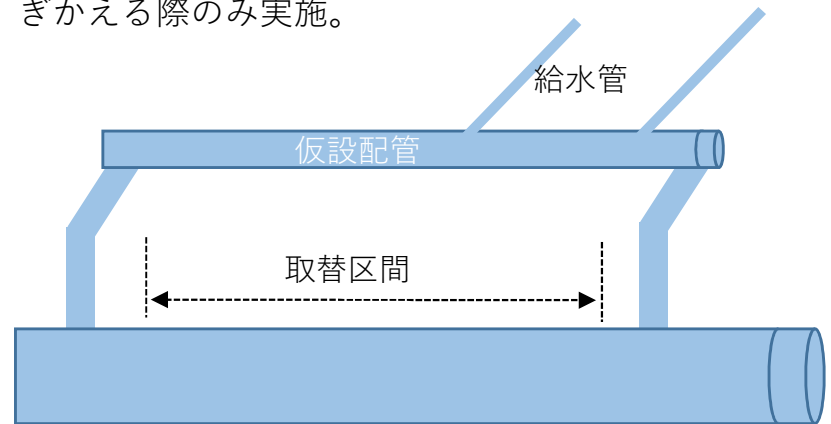
2. 主な審査項目

- ①安全・円滑な工事の施行に当たっての適切な住民対応
- ②地域住民が理解しやすい工事の目的、内容、水道事業のPR
- ③地域に配慮した積極的な環境対策、現場環境の整備等



仮配管施工による断水時間の短縮

事前に仮設配管に敷設することで、水道管取替工事中の断水をなくす施工方法。断水は給水管を仮設配管につなぎかえる際のみ実施。

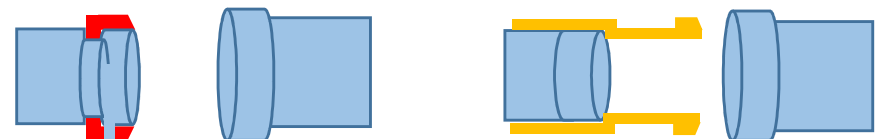


GX管の導入による施工時間の短縮

切管ユニットを利用することで、従来の加工作業を簡略化し、施工時間を短縮。

(従来管)
加工（溝切と凸部の取付）
が必要

(GX管)
切管ユニット利用で加工が
不要



水道工事に関わるこれまでの取組（補足）

<これまでの取組（補足）>

○環境改善費（イメージアップ経費）

1. 実施内容

水道工事のイメージアップを実施するための費用として積算に以下の経費（**工事費の1%程度**）を計上してきた。

- ① 仮設備関係：緑化・花壇、ライアップ等
- ② 営繕関係：現場事務所の快適化、休憩所の快適化等
- ③ 安全関係：工事標識等のイメージアップ、熱中症予防
- ④ **地域とのコミュニケーション：**
工事PR看板、パンフレット、見学会等の開催

2. これまでの経過

H25年10月から：8000万円以上の案件で計上開始

H28年10月から：イメージアップの効果が期待できない工事を対象外へ

○対象外の工事

イメージアップの実施が困難、効果が期待できない工事として、以下の工事は対象外となっている。

- ・作業現場が頻繁に移動する工事
- ・工期が短い工事（60日間）
- ・工事現場が点在する工事 など

⇒配水小管工事は対象外に

水道工事の実施状況（R1）

	全体	区部	多摩
配水本管工事	24Km	9Km	15Km
配水小管工事	387Km	263Km	124Km
計	411Km	272Km	139Km

お客さまセンター等に寄せられた水道工事に関するお客さまの声

種類	年度	工事方法等により対応できるもの	件数	お客様に理解していただく必要のあるもの	件数
施工	H20	<ul style="list-style-type: none"> ・工事後の舗装が雑で砂利が散乱している。 ・家の門が工事の泥で汚されたまま放置された。 	41	<ul style="list-style-type: none"> ・断水時間が長くて困る。 ・水道工事で水が濁って使えない。 	44
	R1	<ul style="list-style-type: none"> ・工事後の舗装に凹凸が多い。 ・水道工事後、車や玄関前が泥で汚れていた。 	65	<ul style="list-style-type: none"> ・夜に断水されると困る。昼间断水されると困る。 ・水道工事後、水に砂が混じっていた。 	38
騒音・振動	H20		0	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の水道工事の騒音で眠れず、体調を崩した。 ・鉄板の上を車が通るときに騒音・振動がする。 	96
	R1		0	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の水道工事の騒音で眠れず、体調を崩した。 ・工事中のエンジン音、掛け声等がうるさい。 	94
事前連絡	H20	<ul style="list-style-type: none"> ・断水工事の連絡が前日に届いた。 ・ビラに記載された工事終了時刻を守っていない。 	96	<ul style="list-style-type: none"> ・水道工事は一軒ごとに挨拶に来ない。 ・ビラの投函に気が付かなかった。 	3
	R1	<ul style="list-style-type: none"> ・断水工事の連絡が前日に届いた。 ・連絡なしに断水した。 	69	<ul style="list-style-type: none"> ・断水が終了したというビラを投函してほしい。 	1
交通関係	H20	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅前で工事しているため、車が出せない。 ・歩行者を勝手に敷地内に誘導していた。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・通行止めの時間が長すぎる。 ・通行止めで遠回りさせられた。 	4
	R1	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅前で工事しているため、車が出せない。 ・誘導員が歩行者より車を優先させていた。 	39	<ul style="list-style-type: none"> ・通行止めのせいでバスが遅れてしまった。 ・通行止めでお店にお客さんが来られない。 	14
態度	H20	<ul style="list-style-type: none"> ・水道工事現場にたばこの吸い殻が捨ててあった。 ・たばこを吸いながら作業をしていた。 	41		0
	R1	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員が路上でたばこを吸って捨てていた。 ・水道工事の作業員に暴言を吐かれた。 	42		0

現行の「東京水道グループ経営基本方針」の位置づけと課題

【東京水道経営プラン2016】東京都水道局の「水道事業ビジョン」（経営方針など、5年間に取り組んでいく目標を設定）

＜運営体制（グループ経営）＞ ①事業運営上の役割分担 ②一体的事業運営体制の強化（グループ経営の推進）

グループ経営を推進するための仕組み

＜全庁的な取組＞

【政策連携団体指導監督等要綱】 指導監督に関する基本的事項（事務分掌、財政支出、情報公開等）を規定

【政策連携団体指導監督等基準】 指導監督事務に関する必要な事項（財政運営、事業運営、組織等）を規定

【政策連携団体の契約に関する指導監督指針】 契約の適正性確保、契約方法、契約結果等の公表等を規定

【業務運営に関する協定書】 指導監督を的確に行うため、協議・報告事項、遵守事項等について締結

＜協議事項＞ 予算及び各種計画の作成、採用計画、就業規則等の制定・改廃、給与規程等の制定・改廃 など

＜報告事項＞ 決算報告及び事業報告、会計監査及び業務監査に係る監査計画・監査報告書等、事故報告等

＜遵守事項＞ 財政運営、事業運営、契約、組織及び役職員、役員報酬、人事・給与

＜水道局独自の取組＞

【東京水道グループ経営基本方針】 グループ経営に関する内部統制、相互連携等の取組を規定

○ 当局・監理団体が共に目指すべき理念等を共有

・ グループ経営戦略会議の設置

・ 執行調整会議の設置

・ 監理団体中期経営計画、年間計画の策定

○ 東京水道グループとしての的確な経営判断の促進

・ 現職都職員の取締役増員 ・ 議決権比率の見直し 等

○ 業務運営の更なる質の向上

・ コンプライアンス推進会議の設置

・ グループ全体の経営情報等の公表 等

○ 東京水道グループ内の連携強化

・ 危機管理、国内外貢献、発信強化における連携

・ 人材（財）の確保・育成 ・ 共同購入等の実施

【協定書第4条に係る覚書】 政策連携団体から水道局に対する事故報告事項を詳細に規定

＜課題＞

- 東京水道を取り巻く環境が変化している（①水道法改正、②東京水道長期戦略構想、③団体統合、④特別監察結果）
- グループ経営を推進するための規程類が、各々独立して設けられており、関係性などが体系的に分かりづらくなっている
- 平成31年4月に、政策連携団体制度が創設され、政策連携団体の戦略的な活用と機能強化が求められている

他企業の財政状況について

1 経済産業省「企業活動基本調査」(H30年度実績)

- 調査対象：日本標準産業分類の対象とした分類に属する事業所を有する企業のうち、従業員50人以上かつ資本金額又は出資金額3,000万円以上のもの
- 対象から水道業は除かれているが、大分類で同じ分類の「電気・ガス業」を参考に記載

【産業別、一企業当たりの各指標状況】

	売上高 (百万円)	売上高 総利益 (百万円)	売上高 総利益率	販管費 (百万円)	販管費 比率	営業利益 (百万円)	売上高 営業利益率	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	自己資本 比率	労働 生産性 (万円)
全企業	25,198	4,788	19.0%	3,846	15.3%	942	3.7%	1,334	942	42.2%	882
電気・ガス業	173,416	26,318	15.2%	20,128	11.6%	6,188	3.6%	6,910	5,415	23.5%	3,544

2 株式会社化されている水道事業に関する他事業体の外郭団体及び他政策連携団体 (H30年度決算) ※公表されている決算資料から算出

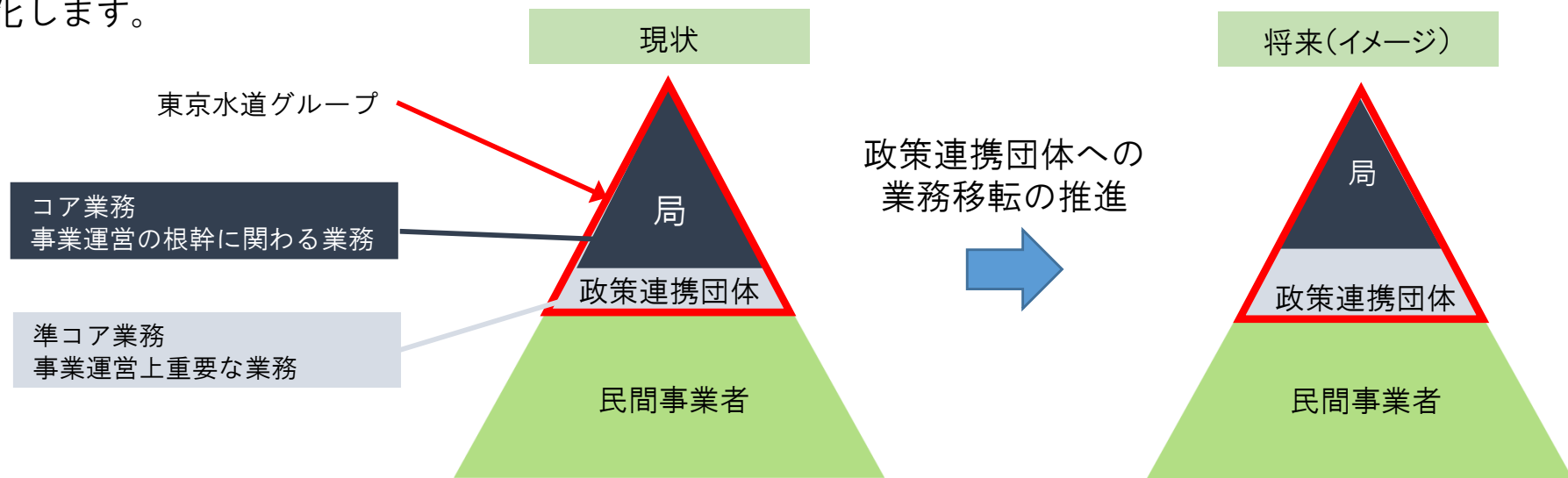
	売上高 (百万円)	売上高 総利益 (百万円)	売上高 総利益率	販管費 (百万円)	販管費 比率	営業利益 (百万円)	売上高 営業利益率	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	自己資本 比率
(株)大阪水道 総合サービス	1,707	293	17.1%	201	11.7%	92	5.4%	92	109	61.6%
名古屋上下水道 総合サービス(株)	3,687	337	9.1%	205	5.6%	132	3.6%	141	71	65.9%
(株)北九州 ウォーターサービス	1,842	214	11.6%	207	11.2%	7	0.4%	42	23	47.0%
東京都下水道 サービス(株)	25,213	2,958	11.7%	1,067	4.2%	1,891	7.5%	1,926	1,246	62.2%
東京交通 サービス(株)	7,078	664	9.4%	337	4.8%	327	4.6%	333	218	58.7%

水道局受託事業における業務移転の推進について

- 今後の業務運営体制について、都の広域水道としての一体性と責任を確保しつつ、一層の効率化を推進していくため、政策連携団体への業務移転を推進していく

【東京水道長期戦略構想2020（抜粋）】

- 水道局では、民間事業者に委ねられる業務は、可能な限り民間事業者に委ねるとともに、水道事業における基幹的業務は、水道局と政策連携団体が担ってきました。
- 水道事業が独立採算制の下、将来の労働力人口の減少に対応しつつ、事業レベルを維持するためには、政策連携団体を含む効率的な運営体制の構築が必要です。
- 業務運営体制は、都の広域水道としての一体性と責任を確保しつつ、一層の効率化を推進していくため、政策連携団体への業務移転を推進するとともに、お客さまサービスや事業者の利便性の向上を進めていきます。
- 具体的には、ICTの活用により窓口の集約化や廃止を進め、現場を統括する組織を新設した上で、現場を出勤拠点化します。



自主事業の拡大に向けて

これまで都水道局からの受託業務で培ってきた経験や技術、ノウハウを活用し、技術系・営業系それぞれの分野で国内における自主事業を展開
(令和元年度実績：39の国内水道事業者等から46件の業務を受託)

- 水道法改正に伴い、コンセッションのモニタリングや、広域化に向けたコンサルタント、システム開発も含めた台帳整備、講習会開催や受講履歴等管理システムの構築などによる指定給水装置事業者の更新支援といった様々なニーズが生じることが想定され、こうした案件の積極的な受託など、新たな事業展開に向けた、営業戦略を策定予定
- TSリークチェッカーの賃貸等を契機とした受注拡大も目指していく。



↑ TSリークチェッカー

株式会社日本ウォーターソリューションと共同開発した時間積分式漏水発見器「TSリークチェッカー」を使用した「時間積分式漏水発見器による効率的な漏水発見手法(スクリーニング工法)」が、第3回「インフラメンテナンス大賞」部門別最高位である『厚生労働大臣賞』を受賞

官民連携への支援

コンセッション方式を導入する国内水道事業者が実施するモニタリングへの支援

運営権者
(技術+営業)

PFI法に基づく
モニタリングの
実施

必要に応じ
業務改善指示等

国内水道事業者

モニタリング
契約

モニタリング
評価内容の報告

新政策連携団体【東京水道株式会社】
(技術+営業)

客観的・専門的知見によるモニタリング